

平成31年3月20日

通学路の安心・安全への取り組み

佐谷田小学校区連絡会



①

佐谷田小学校区連絡会では、校区スクールガードと協働して「地区の子は地区で守る」を合言葉に、子どもの安心・安全活動を行っています。

通学路の安心・安全の確保は、《スクールガード活動マニュアル》を基に、取り組みや進捗状況、結果は、校区連絡会の各団体と連携して地区に伝達し、連帯感や信頼感の育みに努めています。

※別紙、資料1 スクールガード活動マニュアル 埼玉県教育委員会（抜粋）参照

【1】主な活動事例（概ね過去1年間）

1 ブロック塀の把握と安全通行のポイントなどを指導（H30.6～10）

◎概要

大阪北部地震（6/18）の痛ましい被害と過去の地震被害から、安全パトロールに併せて通学路のブロック塀を把握し点検しました。

コミュニティを一層高めるべく、“地震に備えた「通学路中のブロック塀の把握と安全通行のポイント」について”にまとめ、登下校時の指導に活用するとともに、地区や保護者などへ伝達しました。

②



※写真 ②

別紙、資料2 “地震に備えた「通学路中のブロック塀の把握と安全通行のポイント」について” 参照

◎経緯と把握活動（6～7月）

地震発生直後、校区内では「通学路にはブロック塀が多い」「空き家にもある」「学校もブロック塀だ」などの声が聞かれました。

校区連絡会とスクールガードでは、学校のブロック塀の安全点検と、通学路のブロック塀の把握を安全パトロールで行いました。

把握の対象としたブロック塀は、『ブロック塀の点検のチェックポイント（熊谷市ホームページ）』を基にし、地図に記入して市長に情報提供（7/5）しました。

※写真 ③ 参照



③

◎校区内での取り組みなど

・管理者による自主的撤去（7月）と改修

通学路沿いの神社のブロック塀が、管理者によって、自主的に撤去されるとともに改修されました。

管理者とスクールガードとで見分したところ、細い鉄筋が疎らに入った極めて古いもので、教職員も立会しました。

※写真 ④ 参照

改修工事後（9/16）に写したものの



④

・通学路の一部変更（9月）

『通学路に傾斜したブロック塀（空き家）』を回避するべく、教職員とスクールガードとで迂回路の安全確認を実施しました。

その結果を基に、PTAや交通指導員の意見も聴いた上で、通学路の一部変更を行いました。

※写真 ⑤ 参照

（写真中の地区名などについては、一部を抹消）



⑤

・地域とのコミュニケーション（6～10月）

別紙、資料2“地震に備えた「通学路中のブロック塀の把握と安全通行のポイント」について”と『公民館だより』の配布、地区防災訓練での一口講話、スクールガードによる口コミなどで伝達しました。

※別紙、資料3『佐谷田公民館だより 8月号（抜粋）』

資料4『散歩で防災力のアップ』地区防災訓練資料 参照

2 通学路中の『交通安全立て看板』の取り替え（H30. 11～12）

通学路では、随所に『危険・学童通学路注意』などの立て看板が設置されています。その多くが老朽化による損壊が激しく、判読できないばかりか美観を損い、犯罪者を寄せ付ける環境も危惧されていました。

スクールガードと協働して、安全パトロールに併せ、『老朽・破損看板』の把握を行い、看板の取り替えを要望しました。

12月に交通安全協会から新看板の交付を受け設置しました。

※写真 ⑥ 参照



⑥

3 スズメバチから児童を守る登下校（H29. 11～H30. 5）

登下校指導のスクールガード（女性）が、児童から「スズメバチを見たよ」と聞き、スズメバチの死骸を発見。

自治会長・スクールガードリーダー等も通学路に面した空き家の大樹で『飛び交い』を確認しました。

自治会では、直ちに警戒板を設置し、スクールガードでは、学校へ情報提供するとともに、ハチの越冬まで登下校指導を強化しました。

空き家の管理者が5月に伐採した際には、大樹から『キイロスズメバチの巣』が見受けられました。

※写真 ⑦ 参照



⑦

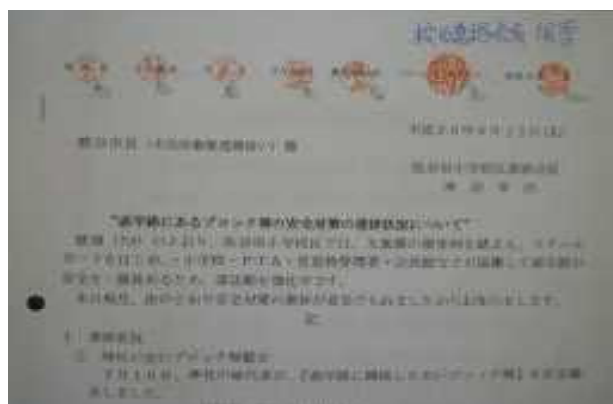
【2】連帯感と信頼感の育み

『子どもを守る活動』については、校区連絡会（自治会・公民館・健全育成会・PTA・学校・寿会・婦人会など）とスクールガードとの協働で進めています。

特に、前述 【1】の主な活動事例については、把握から進捗状況、結果に至るまでの間、各段階において連絡や回議をするなど、連帯感と信頼感を強めています。

※写真 ⑧（例：ブロック塀の安全対策の進捗状況について 回議）参照

⑧



【3】校区役員会での事前説明とスクールガードの参画

先月（2/25）の校区連絡会役員会においては、本日の発表内容の事前説明をするともに、来年度からのスクールガードリーダーの参画が決定しています。

なお、校区連絡会では、スクールガード活動に伴う『帽子』『ベスト』『ホイッスル』などの助成を行っています。

⑨



各地では、子どもの安心・安全を脅かす事件・災害などが多く起きています。

熊谷市メール・学校メールは、毎日のように不審者情報を発信しています。

子どもは、大人の見守りの目の中で、自分の安全を自分で守るための知識や方法を身に付けて行くのではないのでしょうか。

佐谷田小学校区連絡会では、「地区の子は地区で守る」を合言葉に、地区とのコミュニケーションを大切にした自治活動を一層進めます。